

厳冬期における緊急時対応訓練を実施しました

当発電所は、一年を通してさまざまな訓練を実施しております。
このたび、冬期における厳しい気象状況下で原子力災害が発生した場合を想定し、安全をしっかりと確保できるよう緊急時対応訓練を実施しました。
訓練では、風雪や冬季装備品の着用による作業性の低下など、冬季特有の作業環境の中で、決められた手順どおりの対応が確実にできるかを検証するとともに、さらなる改善点の有無を確認しました。
今後も、発電所の安全を確保するため、さまざまな状況を想定した訓練を継続的に行い、緊急時における対応力の維持・向上に努めてまいります。

■大容量電源装置の接続・電源確保訓練（1月21日）

自然災害の発生により送電線や非常用ディーゼル発電機からの電力供給が失われたという事態を想定し、津波の影響を受けない高台に設置している大容量電源装置から発電所へ電力を供給するための模擬操作を実施しました。



大容量電源装置外観

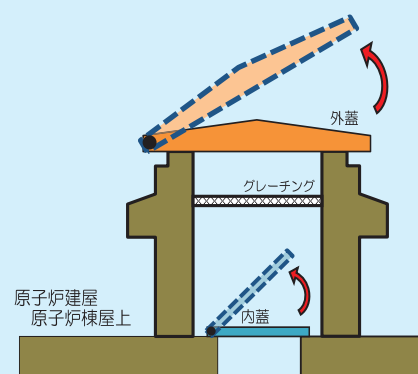


大容量電源装置の送電盤を操作

■原子炉建屋ベント 装置開放訓練（1月26日）

この訓練では、すべての電源設備が停止したことにより、原子炉を冷却する機能が失われ炉心損傷が進み、発生した水素が原子炉建屋内に滞留するという極めて厳しい事態を想定。水素爆発を防止するため、建屋内の水素を外部へ放出する建屋ベント装置の模擬開放操作を実施しました。

当日は、夜間にヘッドライトなどの明かりを頼りに、原子炉建屋の屋上に設置された装置を手順どおり迅速に操作できるかを確認しました。



原子炉建屋ベント装置イメージ図



原子炉建屋ベント装置の模擬開放操作

自己啓発に励む所員を紹介します

当発電所では、各所員が専門性の向上を図り、発電所を安全かつ安定的に運営できるよう、各種資格の取得に力を入れております。
2020年に資格を取得した所員の中から、難関資格に合格した2名を紹介します。

資格名称 第1種放射線取扱主任者

原子力発電所を運営するには「第1種放射線取扱主任者」の資格を有する者の中から「放射線取扱主任者」を選任する必要があります。

「第1種放射線取扱主任者」の資格取得に向けた学習に取り組むことで、放射線管理課での業務に必要な知識を多く得られることから、資格取得に挑戦しました。

次は、さらに難しい「原子炉主任技術者」の資格取得を目指し、自己啓発に取り組んでいきたいと思います。



放射線管理課
吉田 瑞城
(岩手県宮古市出身)

資格名称 エネルギー管理士

発電所では、「エネルギー管理士」の資格を有する者の中から、エネルギーを使用する設備の維持、エネルギーの使用方法の改善および監視などを行う「エネルギー管理者」を選任する必要があります。

勉強しなくてはならない内容が多く大変でしたが、過去問題集を繰り返し解くことで、自信をもって試験に臨むことができました。

資格取得を通じて得た知識を生かし、今後の業務や発電所の再稼働に向け取り組んでいきたいと思います。



機械保修課
細井 鴻一
(秋田県秋田市出身)

無事故・無災害を願い安全祈願祭を実施しました

1月6日、田名部神社において安全祈願祭を実施しました。

当日は、発電所および構内協力会社の代表者が出席し、今年一年の安全を祈願しました。

今後も発電所と構内協力会社が一丸となり、安全最優先で業務に取り組んでまいります。



今年一年の安全を祈願